

認知症に関する活動計画（概要）

愛媛県作業療法士会では、2017年度より認知症支援部門を立ち上げている。認知症地域支援事業として、東予・中予・南予地区の地区別に部員を配置し、県内各市町や関連団体より依頼を受け、認知症サポーター養成講座や、介護予防教室等へ出向き、作業療法士として地域支援に資する活動を行っている。

県士会員に向けては、アップデート研修を開催し、認知症に対する理解の推進を図り、どの領域でも期待される役割に応えられる作業療法士の養成を目指す。また、今年度は地区別の部員増員を図ると共に、それぞれの部員が地域に出向いて活躍できるような体制づくりを行う。

認知症地域支援事業

2019年度に「三浦保」愛基金の助成を受けて、認知症予防・啓発を目的とした「えひめカンカン体操」DVDを作成した。そして、愛媛県下全ての社会福祉協議会・地域包括支援センター、県士会員へDVDを配布し、説明会を行っている。

市町村からの依頼に応じて、認知症初期集中支援、認知症カフェ、予防事業や出前講座等にスタッフを派遣している。地域で活動する際には、認知症予防啓発を行うと共に、DVDの説明も加え、認知症予防の1つの手段となるよう啓発活動も行っている。



認知症に関する研修など

認知症に対する理解の推進を図り、どの領域でも期待される役割に応えられる作業療法士の養成を目的に、愛媛県作業療法士会では、県内の作業療法士、言語聴覚士、理学療法士からなる愛媛県リハビリテーション専門職協会と共催し、認知症アップデート研修を開催している。内容は年度ごとに部員で検討し、認知症の基礎知識をはじめ、認知症基礎研修（認知症サポーター養成講座）、認知症地域支援活動養成研修（えひめカンカン体操演習）を取り入れている。

また、当士会の部員には認知症サポーターキャラバンメイト養成講座の受講を推進している。今後も作業療法士として専門的な知識を持ち、行政と協働できる作業療法士の増員を目指す。

COVID-19の影響・対応など

2023年5月8日から5類感染症に分類されて以降、徐々に地域からの活動依頼が再開している状況である。各地区での依頼内容に応じて部員を派遣すると共に、新たに地域で活躍できる作業療法士を育成出来るよう、現場担当者と感染対策等について相談しながら、実際の現場での見学や同行を進めていきたいと考えている。

また、研修会についても対面での開催を予定している。